

なむぞうニュース



浦上博隆浄土宗近畿地方教化センター委員長

第二十二回浄土宗近畿地区児童教化連盟研修会 開催

テーマ「“子どもの貧困”を理解する」

去る十月十日（金）、奈良県奈良市三条本町八一 ホテル日航奈良に於いて浄土宗近畿地方教化センター・浄土宗近畿地区児童教化連盟主催、浄土宗奈良教区・教化団後援、浄土宗奈良教区児童教化連盟担当にて研修会が行われました。

はじめに浦上博隆浄土宗近畿地方教化センター委員長を導師に、三宅明信浄土宗児童教化連盟理事長・田原俊幸浄土宗近畿地区児童教化連盟副理事長・木上正光奈良教区教区長・中村宏道奈良教区教化団長を脇導師にお迎えし、勤行をお勤め致しました。

続いて宗歌「つきかげ」斉唱をし、児童教化連盟の歌「輪をつくろう」唱和の後

峯近高明浄土宗近畿地区児童教化連盟理事長より開会の挨拶、続いて浦上博隆浄土宗近畿地方教化センター委員長・

三宅明信浄土宗児童教化連盟理事長のお二人よりご祝辞を頂戴致しました。

最後に木上正光奈良教区教区長より歓迎のお言葉を頂きました。

峯近高明近畿地区児童教化連盟理事長



浄土宗児童教化連盟活動報告

■第 43 回全国研修会 担当・北陸地区
テーマ「コドモ☆イノチ」

日 時 平成 30 年 7 月 4 日（水）～ 5 日（木）
会 場 芦原温泉「まつや千千」
講義①『仏様からのおすそわけ』

講師 松本靖朗 師
奈良教区第五組安養寺住職
特定非営利活動法人

講義②『私が役所を辞めた理由（わけ）』
～子供たちに寄り添って～

講師 橋本達昌 先生

児童家庭子育て支援センター
児童養護施設「一陽」総括所長
講義③『あきらめない心』

講師 高橋一巳 先生
一般社団法人アフタースクール主宰
佐渡市委託事業

地域活動支援センター起業家

参加者（近畿）

久米秀慶	蓮見昌寛	静永秀明	溪 恒雄
三田光真	青山弘美	當麻仁美	神居伸行
福井純史	稲岡憲雄	中村勝胤	安田文岳
神谷俊英	神田眞照	児玉康典	羽田雅法
金富法隆	柴田雅章	福田典弘	山口明浩
河原弘道	市橋普信	峯近高明	(敬称略)

■第 35 回指導者講習会

日 時 平成 31 年 2 月 6 日（水）～ 7 日（木）
会 場 和順会館
講習①『子どもの人権』

～子どもの虐待問題を通して～

講師 井上良純 師 伊賀教区教区長
講習②『話の組立方』～落語を通して～

講師 雷門福三 師匠 落語家
講習③『簡単お遊び』

講師 三宅明信 理事長
講習④『紙相撲を作って遊ぼう！』

講師 石島俊彦 師
大阪教区洗心寺住職

※講習会終了後、和順会館地下ホールに於いて
浄土宗児童教化連盟創立五十周年記念式典が
催されました。

参加者（近畿）

久米秀慶	山内啓信	伊藤真昭	蓮見昌寛
静永秀明	溪 恒雄	佐々木昭道	梶原典子
本多廣賢	勅使河原美代子		稲岡憲雄
福井純史	安田文岳	木上豊彦	吉川慎隆
田原俊幸	江川真司	神田眞照	石島俊彦
羽田雅法	金富法隆	山本典雄	久松宏明
柴田雅章	木村宗司	福田典弘	山口明浩
山本真司	山本諭司	峯近高明	市橋普信
			(敬称略)

今後の予定行事

平成 31 年度近畿地区児童教化連盟

第 22 回 総会・研修会

日 時 新元号元年 5 月 23 日（木）

午後 3 時～

会 場 京都ホテルオークラ

講 師 三輪尚伸 師

第 23 回地区研修会

日 程 新元号元年 10 月 10 日（金）

会 場 大阪教区教務所

詳 細 未定

平成 31 年度浄土宗児童教化連盟

第 44 回全国研修会 担当・東海地区

日 程 新元号元年 8 月 31 日（土）～

9 月 1 日（日）

会 場 愛知県

ホテルアークリッツシユ豊橋

詳 細 未定

編集後記

兎にも角にも二年が過ぎました。手探り
状態のいたらぬ事ばかりの執行部です
が、今後とも会員諸師のご指導ご協力を
切に願います。（市）

平成三十年度秋期研修会

日時 平成三十年十一月二十七日（火）

会場 日本玩具博物館（兵庫県姫路市）

講師 **井上重義** 先生（同館館長）

内容 日本古来の伝承玩具文化と

製作を体験

本年度執行部担当の研修会は、兵庫県姫路市香寺町に在る「日本玩具博物館」に於いて開催されました。世界の伝承玩具を収集・展示する同館の井上重義先生は、会社勤めのかたわら、出会った本がきっかけで日本郷土玩具の調査と収集を始められました。その後自宅を改装し同館を設立されました。展示の玩具は、先生自ら世界を旅して集められた物や、愛好家から寄贈を受けた物です。中でも江戸―明治時代に親しまれたちりめん細工の再興に力を注ぎ、全国的なブームの火付け役に。当時の資料を研究し、ちりめん細工についてまとめられた著書はロングセラーになっています。

さて、研修は先生の郷土玩具・伝承玩具の話に続いて身近に在る素材（新聞紙やストロー、輪ゴム、牛乳紙パック等）を用い、手作りで玩具を製作しました。



日本玩具博物館 同館長 井上重義先生



手作り玩具の製作風景

参加者

- | | | | |
|------|---------|------|------|
| 蓮見昌寛 | 山内啓信 | 久米秀慶 | 稲岡憲雄 |
| 児玉康典 | 羽田雅法 | 金富法隆 | 安田文岳 |
| 神谷俊秀 | 田原俊幸 | 江川真司 | 峯近高明 |
| 柴田雅章 | 小島隆彦 | 芳川隆哉 | 市野正道 |
| 山下孝生 | 河原弘道 | 山口明浩 | 新改恭正 |
| 福田典弘 | 藤井祥弘 | 山本真司 | 山本諭司 |
| 市橋普信 | 寺庭婦人 3名 | | |
- （敬称略）

近畿地区児童教化連盟研修会

浄土宗児童教化連盟理事長 三宅明信上人



奈良教区教区長 木上正光上人



研修① 「子どもの貧困と日本社会」

つながりの中で生きる」

社会活動家・法政大学教授湯浅誠先生

現在、日本では子ども七人のうち一人が貧困と言われているそうです。二つの無いが在る。すなわち、お金が無い・繋がりが無い・自信が無い。人と人が触れ合い、優しくて暖かい賑わいを創る地域交流の促進をはかる時、お金や繋がりが無く、賑わいから弾かれる子どもを作ってはならない、これが即ち子どもの貧困対策であると話されました。

社会活動家・法政大学教授 湯浅誠先生



研修② 「子どもの貧困と子どもたちの

『まずは、ごはん!』を支えるために」

大阪子どもの貧困アクショングループ

NPO 法人 CPAO(シーパオ)代表

徳丸ゆき子先生

先生は、平成二十五年五月二十四日「最後におなかいっぱい食べさせられなくて、ごめんね」といった遺書のようなメモを残し、大阪市北区で発見された母子の変死事件を受け、「悲劇を繰り返したくない」と翌日から子ども支援関係者と共に活動を始められました。聞き取り調査や夜回りなどを行うことで、数多くの精神的にも経済的にも厳しい状況に置かれている孤立した親子らと出会い、「まずは、ごはん」を中心に、子ども一人ひとりのニーズに答えながら活動を展開されています。現在「子育ての社会化」を実現させる為、実践は「NPO 法人 CPAO」、政策提言は「大阪子どもの貧困アクショングループ」が担い、両輪で活動なさっています。



CPAO 代表・徳丸ゆき子先生